



議会  
だより

# ふな状た

No.159

26年/7



発行：山形県舟形町議会  
平成26年7月25日



6月定例会概要、議案審議..... 2～3 P  
 一般質問に3議員..... 4～6 P  
 町民の声・請願・議会活動..... 7 P  
 議会報告会..... 8～9 P  
 議会活性化特別委員会中間報告.....10～11 P  
 えがったなあ・編集後記.....12 P



7月1日 鮎釣り解禁

# 6月定例会 9日～10日

## 早期の完全開通を

# 町道舟形太郎野線災害復旧工事の増額

# 2,715万円

6月定例会は、9日から10日までの会期で開催されました。3人の一般質問に続き、26年度一般会計補正予算等、全議案を原案どおり可決しました。

### 主な付議事件

町税条例の一部を改正する条例制定の専決処分の承認

25年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告（翌年度に繰越できるもの）

- ・ 民生費 669万円
- ・ 農林水産費 5,505万円
- ・ 教育費 2,600万円
- ・ 災害復旧費 1,160万円

25年度(株)舟形町振興公社（若あゆ温泉）経営状況の報告

26年度一般会計、特別会計補正予算

町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正  
（もやせないごみ袋に小さいサイズを追加）

### 主な事業（26年度補正予算）

財産管理費（旧JA給油所用地購入費） 1,985万円

町総合行政システム事業

（社会保障・税番号制度導入のためシステム改修委託料） 1,116万円

農業振興事業（園芸拡大支援事業補助金） 195万円

定住促進住宅整備事業（工事費、設計及び登記委託料） 4,511万円

## 質疑応答

### 平成26年度一般会計補正予算

**議員** 住宅整備事業の補正の内容と、今後のスケジュールは。

**地域整備課長** JAスタンド跡地に駐在所が建つ予定です。その残地にメソネットタイプの町営住宅を建てるための補正です。

スケジュールは、今から設計を行い、建築確認申請を提出し、許可が出しだい工事に取りかかる計画です。



駐在所・町営住宅建設予定地  
（JAスタンド跡地）

**議員** 災害復旧事業2,715万円の事業箇所は。地域整備課長 太郎野入口の崩落した箇所です。昨年9月に災害査定を受け、発注する前に再度崩落したため、その測量、設計、工事費です。

**議員** 10月に予定している舟形版の婚活事業で女性の募集はどのように行うのか。

**まちづくり課長** 事業は10月4～5日の2日間の予定で、女性の募集はインターネットで行います。多くの参加者を得るために、交通費の助成などについても実行委員会で検討しています。

**議員** 簡易水道事業で測量、設計業務委託料を1,680万円増額して、工事請負費を同額の1,680万円減額した理由と、当初予定していた工事ができないことで供給地に影響は出ないのか。

**地域整備課長** 今年、国からの補助金が決定したことを受け、県の指導により、3年分の測量、設計業務委託料事業を前倒して行うことにしました。小松水源地の井戸をそのまま利用できるため供給には全く支障はありません。

### 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

**議員** 小さいサイズのもやせないごみ袋を導入した理由と他市町村の導入状況は。

**税務福祉課長** 現在のごみ袋は容量が多いため、衛生ステーションまで持っていくうちに袋が破けたり溜めないうちにごみを処理したいとの町民の声があり、小さなごみ袋の導入をすることにしました。他市町村では、複数のサイズのごみ袋を導入しているところもあります。



崩落現場（舟形太郎野線）



齋藤 好彦 議員

# 農家を減少させない農業政策を 健全な農地保有に努める



未整備の農地

**質問** 国は、農家の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの問題を解決するために、「攻めの農業」と称して、「人・農地プラン」を前面に打ち出し、人と農地の問題を一体的に解決しようとしています。しかし、お金で農地を集約するだけでは高齢農家の経験や知恵が失われ、地域のつながりが薄れてしまい、結

果的に農村が衰退してしまっているのではないのでしょうか。町主導による地域での徹底した話し合いが大切であり、地域の意向の積み上げを尊重し地域の実情に応じた、自治体農政を農家の立場で考えることが、もっとも重要であると考えます。  
農地中間管理機構の業務の一部を担っていく町として高齢農家、小規模

- ①園芸作物等の高付加価値作物栽培への経営転換
- ②集落営農組織の育成。
- ③農業後継者の確保や地域リーダーの育成。
- ④生産基盤の整備。
- ⑤現有農地規模における営農計画の検討の5点について重点的に取り組んでいきます。

次に「農地中間管理機構」ですが、この事業は今年からスタートするもので、詳細については、まだまだ不透明な内容が多いわけですが、今後、県の指導をいただきながら、農地中間管理機構の目的である「農地の有効利用の継続」「農業経営の効率化を進める担い手への農地利用の集積・集

約化」を具現化するため、基盤整備の取り組みを強化しながら、地域内の話し合い活動を活発化し、日本型直接支払制度を有効活用して健全な農地保全に努めていくことが、持続性があり、かつ将来につながる農地の有効活用と考えます。



ヘリコプターによる直播



奥山 謙三 議員

# 地域コミュニティの構築を 住民が主体の話し合いが大切



花の定植運動

**質問** 地域コミュニティを構築するためには、リーダーの確保が最も大切ですが、その候補に町内会長の役割が大きいと考えます。  
町では、町内会長に担っていただきたいこと、行政が行うこと（地域担当制も含む）について、

どのように考えているのか質問します。  
**町長** 地域コミュニティを構築するリーダーである町内会長の役割分担について、町内会長は自主的、民主的に運営し、その組織をまとめる責任者としての役割と、行政との連携などの役割があります。

地域の課題を明確にして、一律に行政の役割として対応するには難しいものがあります。それを克服するには、行政と地域の役割分担を明確にすることにより、解決策を探ることが重要であると考えています。  
地域コミュニティの構築や再生には、住民が主体となって話し合うことが大切で、そこに行政職

**質問** 平成25年度は、就学前から義務教育課程終了までの一貫教育初年度となりました。新たな体制構築のこの時期に、保育園の26年度体制は正職員3名と少なく、臨時職員は25名になっています。今後、正職員を増やす考えはあるのか、あるいは、これまで正職員を増やさないことは、指定管理者制度による運営、若しくは完全民営化も視野に入れてのことなのか質問します。

員がかかわっていく中で、課題解決のために町内会長、行政支援の役割が見えてくるものと考えます。  
**ほほえみ保育園の運営を問う**

**町長** 現在、正職員の不採用や民間委託については、行政運営全般を見据え、保護者や地域住民の理解を得ながら判断しなければならぬことであり、今後、課題を整理し、進めてまいりたいと考えています。

不採用や民間委託については、行政運営全般を見据え、保護者や地域住民の理解を得ながら判断しなければならぬことであり、今後、課題を整理し、進めてまいりたいと考えています。





佐藤 勇 議員

# 町内会長報酬の見直しを

## 報酬審議会で前向きな議論

**【質問】** 人口減少、少子高齢化が進み小学校が統合になり、人と人とのかわりが薄れていくことが心配されます。地域コミュニティを維持し、支え合い、安全安心な生活環境づくり、町内会の運営については、町内会長に望まれることが年々多くなり仕事量が増えてきて

います。現行の町内会長報酬は、いつから見直されていいのですか。

**【町長】** 町内会長の報酬は、平成8年2月29日に報酬審議会を開催し、同年4月1日から現在の報酬となっています。

町では、平成21年度から自助、共助、互助の町づくり基本理念に則り、自分達の集落は、地域の皆さんで主体的に取り組んでいただくため、地域協同事業や地域支え合い事業、自主防災組織の立上げ、安否確認訓練などを町内会にお願いしているところであり、報酬審議会で前向きな議論をいただきたいと考えております。

### NPO長沢学校の旧長沢小学校利活用は

**【質問】** (有舟形マッシュルームは、NPO法人を設立し旧長沢小学校を利活用していく計画を町と協議し、議会と長沢地区住民へ説明をしましたが、グラウンドに栽培舎を建設し、栽培を行うことについては、住民の理解が得られなかったため、旧長沢小学校の利活用を断念しました。その経緯を議会と長沢地域住民に説明するべきではないか。

**【町長】** 昨年9月のNPO法人に対する補助金の補正予算計上時には、(有舟形マッシュルームの提案により、新たにNPO法人を立上げ、旧長沢小学校の維持管理をし、さら



旧長沢小学校

に、農産物の輸出基地の構築、農家レストランの運営、農業体験、料理セミナーなどを計画したいとの考え方を説明しました。11月下旬に、NPO法人から運営費用の捻出のため、グラウンドを活用して栽培舎24棟を建設し、貸付料をNPO法人の収入にしたい旨の申し出があり、住民説明会を

2月12日と14日に開催しました。説明会の状況を受けて、NPO法人から町に対して旧長沢小学校の貸付要望を取り止めるとの申し出があり、2月28日に議会全員協議会での旨を説明し、3月28日付けで取り下げる旨のチラシを長沢地区全戸に配布しています。



町内会長会議

### 声 声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお待ちしております。

舟形町では、毎年、絵本作家の講演会を開催しています。他の市町村でも取り組んではいますが、長年続いているのは舟形町だけではありません。私たちは、本が大好きな子どもを増やそうと、10年以上前から、学校と地域の皆さんのご協力を得て、毎週、舟形小学校と舟形中学校で絵本の読み聞かせを行なっています。

新庄市では、今年度からブックスタートが始まります。ブックスタートとは、乳幼児に絵本をプレゼントし、家庭でいつでも絵本の読み聞かせができる環境を作ることです。22年前にイギリスで始まり、14年前から日本でも実施されるようになりました。これは、子どもの発育に非常に良いとのこと、県内でも13の自治体の実施しています。

「子育てするなら舟形町で」を推進する上で、大いに手助けとなり、イクメンを増やすことにもなりそうです。議会の皆様にも、ぜひこういった取り組みをご理解いただき、ご協力をお願いいたします。



最上地区読み聞かせサークル連絡協議会  
会長 佐藤良知さん  
(沖の原)



登拝口の鳥居

### 請願

3月定例会で継続審査となっております左記の請願は次のとおりとなりました。  
・猿羽根山地蔵尊登拝口の鳥居撤去及び道路補修に関する請願

#### 一部採択

(道路補修に関する件を採択)

請願者 猿羽根山地蔵尊  
堂守 梅津 良元

### 議員研修会 (5月8日)

最上総合開発センターで最上地区の1期、2期目の議員を対象に開催され、当議会からは4名の議員が出席しました。  
講師の県町村議会議長会の武田局長から、  
○ 地方自治法改正による課題と活用  
○ 発言について  
○ 評決について  
○ 委員会の運営課題について  
の研修を受けました。  
研修で学んだことをこれからの議会運営の中で活用し、町発展のために一層努力してまいります。



議員研修会

### 第5回議会報告会

4月3日、4日に議会報告会を開催し、各会場でいただいた質問や要望等を議員全員で検討し、町長へ報告しました。主な質問と回答は次のとおりです。

**質問** 議会活性化特別委員会とはどんな組織か。

**回答** 議会運営の活性化のため、様々な検討、実践を行なっている特別委員会組織です。



議会報告会（西堀公民館）

**質問** 長野県で実施した議会合同研修会の内容は。

**回答** 総務振興常任委員会は、ぶどう畑に設置した雨除け兼用ソーラーパネルを用いた露地ぶどう栽培システムを研修しました。文教民生常任委員会は、野沢温泉村で行なっている保・小・中一貫教育並びに高校との連携教育を研修しました。

**質問** 議員定数について現在の10名をどう考えているか。

**回答** 議員定数は、町の条例で定めています。現在は、10名ですが、議会活動を行ううえで委員会構成等、公正・公明な調査、議論を充分に行うには限界であると考えます。全国町村議長会等や専門家の意見を参考にすれば、12名程度が理想と考えます。

**質問** 町内会の陳情書について議会での把握と対応は。

**回答** 各町内会からの陳情書は、町長が受理し、各担当課において精査し、対応策等を回答書として町内会へ報告します。議会へは回答書の配布での報告になります。必要な件については、各議員が町の担当者から事情の聞き取りや実施の要望を行なっています。陳情書提出の際に議員も同席してほしいことですが、町当局と協議し、検討していきたいと考えています。

**質問** 西堀地区は地滑り地区となっているが、未だに第一避難所等の指定が不明である。早急な対策と回答を示して欲しい。

**回答** 地域防災計画における西堀地区の避難所として、屋内避難所が西堀公民館と舟中体育館、屋外避難所が舟中グラウンドとB&Gセンター体育館前、さらに西堀住宅団地内広場となっています。土砂災害は大雨警報等による危険状態がある程度予測され避難時間も確保できることから、舟形小学校が適していると考えます。

**質問** 子育て支援住宅の入居基準は。

**回答** 入居希望者の親族に新生児の出産予定、または小学校若しくは特別支援学校の小学部までの者がいることの入居者基準があり、町広報誌などにより公募しています。

**質問** 旧富長小学校で行う特産品開発事業とは。

**回答** 国の補助事業で旧富長小学校の食堂と厨房を改修し、舟形町の鮎や農産物を生産・加工・販売し、農水産業の6次産業化を推進するものです。運営は(株)舟形町振興公社（若あゆ温泉の管理会社）が主体となっており行います。

**質問** 農業集落排水事業と公共下水道事業の違いは。

**回答** 農業集落排水事業は農林水産省の補助事業で実施し、上長沢、下長沢、長者原、福寿野、富田、堀内地区で供用しています。公共下水道事業は国土交通省の補助事業で実施し、経壇原、一の関、舟形、紫山、沖の原、西堀と木友で供用しています。

**質問** 国保運営協議会とはどのような組織か。

**回答** 町長の諮問により、国民健康保険事業の経営状況の把握や保険税（歳入）について検討し、町長に答申する組織です。

**質問** 縄文の女神関連周辺整備事業等の地元への説明が不足していると感じる。

**回答** 遺跡地の整備について、西堀町内会役員会、西堀町内会のまちづくり意見交換会、西堀町内会総会などでその都度、内容や進捗状況を説明してきました。今年度は実施設計に入り、具体的な説明や、町内会の意見も反映できるものと考えています。

**質問** 若あゆ温泉の経営状況は。

**回答** 利用客数も順調であり黒字経営で推移しています。

**質問** 消防ポンプ車の地元負担をなくすことはできないのか。

**回答** ポンプ車購入などの消防施設整備事業に関しては、対象町内等からの「寄附に関する規定」に定められ現在も運用されています。この規定は、町民の消防防災意識の高揚を目的としており、事業への積極的な参加や、整備後の維持管理についても充分に行なっていただけのことと期待しています。したがって、今のところ地元負担をなくす考えはありません。

**質問** 税金の未納についての対応策は。

**回答** 収納対策室を設置し回収に努めています。昨年度の徴収率は、県内第2位でした。

**質問** 舟形町の受動喫煙条例制定の考えは。

**回答** 町では小中学校の敷地内全面禁煙、町の施設でも施設内全面禁煙としています。また、若あゆ温泉でも喫煙室を設置し分煙に努めています。受動喫煙の正しい知識を普及し、吸う人も吸わない人もそれぞれの立場を理解できるように支援しており、現在のところ条例制定の考えはありません。



議会報告会（富田公民館）

# 舟形町議会活性化特別委員会

## 中間報告

これまでの調査検討結果をまとめた「中間報告」を、平成26年6月定例会最終日に、加藤憲彦委員長が行いました。その内容を次のとおり報告します。

### 1. 調査事件

議会の活性化を図るため、議会改革についての課題を調査検討

### 2. 経過

平成25年6月に設置された当該議会活性化特別委員会は、議会まち活性化特別委員会（平成23年6月～平成25年3月設置）の活動報告を引継ぐと共に、新たな課題及び活動にも取り組み、町民の負託に的確に応えられる議会改革を常に念頭において、活動を行なってきました。

【委員会設置期間】平成25年6月12日～

平成27年3月31日

### 3. 委員会開催状況

- 幹事会 6回
- 委員会 7回
- (うち視察研修1回)

### (3) 議会基本条例の制定について

議会基本条例は、議会と議員の活動原則や住民参加を推進することなどを明文化するものであり、住民意思を代表する議会が真の地方自治を実現するために、住民にどのように向き合うのかというルールとも言えます。

当議会では、その趣旨を充分理解し、議会活動及び議会改革について積極的な取り組みを行なっています。

今後、これまで以上に公平、公正、透明な議会運営や、開かれた議会づくりを進め、情報の提供と共有を図りながら、町民の積極的な参加を求めていく必要があることから、議会基本条例の制定について積極的に検討していきます。

### (4) 通年議会について

通年議会は、会期を通年に行うことにより常に議会が活動できる状態になります。「専決処分」の多発を防止し、必要な案件が出た場合は素早く対応できるメリットもあり、通年議会の導入については、引き続き検討を進めます。

### 4. 調査検討事項について

#### (1) 議会のインターネット配信について

山形県内市町村の実施状況は、平成24年度調査では13市のうち11市、22町村のうち11町村が、インターネットによる同時中継または録画中継（一部庁舎内中継）が行われています。その後も、実施する市町村が増える傾向にあります。10月に視察研修を行なった川西町議会では、平成22年度から実施しており、その効果について説明を受けてきました。インターネット中継は、より開かれた議会、迅速で細部にわたる情報提供、紙面では伝えられない議会の様子を伝えられるなどのメリットがありますが、高額な機器導入費、保守管理の費用と編集などに要する作業事務が発生します。このようことから、町民への周知と、町民の意向を把握しながら、議会活性化に及ぼす効果と費用について検証する必要があります。



インターネット配信の視察（川西町）

#### (5) 議会報編集特別委員会の常任委員会制について

現在、当該議会報編集特別委員会制をとりおろし2年間の期間で設置しています。平成18年の地方自治法改正により、議員は複数の常任委員会に所属することが可能となりました。これを受け、議会だよりの編集・発行活動は継続的なもので、会期の始めの議会で選任された常設の委員会で行うのが望ましいとする考えから、常任委員会制を採用している議会があります。議会活性化特別委員会でも検討を行うと共に、議会報編集特別委員会でも検討するよう要請しました。その結果、活動の中心については何ら変わることはなく、当面の間現行通りとし、特別委員会制を継続することにしました。

#### (6) 団体との意見交換会について

開かれた議会と町政に民意を反映させるために、議会活性化特別委員会では団体との意見交換会を開催することにしました。今年度は、民生児童委員協議会との意見交換会を平成26年1月に行いました。議員と民生児童委員から、それぞれの「組織と活動の概要」について説明をした後に、「要援護者世帯の見守り活動」と「除雪支援」について、4名の民生児童委員から事例提供が行われました。高齢化が進む中で、一人暮らし高齢者の見守り活動と除雪支援に努力している状況について、支援現場の生の声が聞かれ、意義深い事業となりました。

#### (2) 議員の審議会等への参画の見直し

現在、町議会議員が委員に就任している審議会等は、民生委員推薦会委員、監査委員は法令の定めにより議員より各1名を選出しなければなりません。消防委員2名、斎場委員1名については、町の条例等によるもので、法令による定めはありません。国民健康保険運営委員、農業委員は議員としての資格要件はありません。審議会等の委員の委嘱については、以前より次のような国からの考え方が示されています。行政への民意の反映

- ・議員が町の設置する審議会等に参画することは、立法機関と執行機関との機関対立型をとる民主的な地方制度の趣旨に反し、適当ではない。
- （「地方分権と市議会の活性化に関する調査研究報告書」）

川西町議会においては、二元性を明確にするために平成14年4月に町機関の委員就任を原則廃止としています。

当町においても、特に法令による定めのあるものを除き、議会は、議員が審議会等の委員に就任することを慎むよう検討します。

また、条例で議員を委嘱することを決めている場合は、上記の趣旨により条例改正を要請すべきであると考えています。

なお、近隣市町村の状況なども検証し、判断する必要があります。

また、民生児童委員からは、日ごろの活動の労苦を議員から理解してもらったという喜びの声がありました。

今回は、時間的な制限や初めての企画でもあり、課題解決のための話し合いを深められなかったことは、次回の課題であります。今後とも、各種団体との意見交換会を実施してまいります。

終わりに、この度の報告は、前期1年の検討事項を述べたものであります。町民の負託に応えるため、残された期間の中で今後とも検討を進めてまいります。



民生児童委員との意見交換会



# シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さんをご紹介します。

# えが ったなあ

シリーズ  
もてナイ



□どんなきょうか(ご主人)と知り合いましたか?  
昨年行われた、もてナイのお見合い大作戦がきっかけで知り合いました。

□舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか?

人と人とのつながりや、絆がすばらしいと思いました。何もわからない私にもみなさんとても親切にしてくださり、優しい方が多い印象を受けました。最初は言葉の壁で悩んでいたのですが、最近、方言が心地よく感じ、それもまた舟形のいいところだなあ...と思っています。

□舟形町での生活はどうですか?

青森では経験できないような自然とふれあえることが新鮮で、毎日とても楽しいです。食べ物もとてもおいしいし、温泉も気持ちいいし、舟形に来てよかったです。青森より、舟形の夏は暑いそうなので、どこ乗り切ろうか最近毎日考えています(笑)

□舟形町の良いところ、悪いところがありますか?

良いところは、自然が豊かで、町のみなさんがとても優しいことです。いろんな方が声をかけてくれたり、助けてくれたり、日々感謝しています。

悪いところというよりはびっくりしたことなのですが、とにかく虫が沢山!!そして大きい!!苦手なのでとてもこわいです。

□舟形町に望むことはありますか?

近くにコンビニなどがあれば、便利かなあと思います。

舟形町に嫁いで来たお嫁さんです。  
今回は、青森県から福寿野に嫁いで来た戸塚愛梨(旧姓大友)さんです。  
皆さんよろしくお願いします。

## お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。  
対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。

(連絡先)  
舟形町役場議会事務局  
TEL 0233-32-2111(代)

## 次回の定例会は

9月4日(木)~11日(木)

までの予定です。

皆様の傍聴をお待ちしています。

お問い合わせ先  
議会事務局 ☎32-2111

## 表紙の説明

太公望が訪れる鮎釣り解禁日を前に、最上小国川で鮎の調査釣りが行われた時の様子。  
今年の鮎も順調に成長し15cm〜20cmの型の良い鮎が午前中だけで30匹釣れていました。

友釣りは、石に付着する藻類をめぐって縄張り争いをする習性を利用して針に掛け、タモ網で捕獲する釣り方で、そのダイナミックな釣りにシーズン中、舟形町には3万人の釣り客が訪れると言います。

昨年は、長雨の影響で友釣りのできる日が少なかったのですが今年は天気に恵まれ、多くの釣り客でにぎわってほしいです。

## 編集後記

都議会のやじは世界のマスクミが報道したので大きな問題になった。それにもかかわらず、国会でも同じようなやじが出た。昔は衆議院にやじ将軍と言われた人が居て、発言者を立ち往生させたり議場を和らかに明るくしたりするやじもあつたという。また、政務活動費出張費問題で号泣会見動画が出回り、海外にまで波紋を広げた。説明責任を果たさず世界に恥をさらしたと大きく報道されている。

舟形町議会では活性化特別委員会において町民に開かれた議会を目指して、議会や議員の責任を再認識し、自らの資質向上を図るため、議会基本条例の執行を目指して話し合いを進めようとしているところです。

議会議員として、これからも品格を持って活動したいと思えます。

(加藤 憲彦記)

## 発行責任者

議長 信夫 正雄  
議会広報特別委員会  
委員長 佐藤 広幸  
副委員長 佐藤 勇  
委員 加藤 憲彦  
委員 斎藤 好彦  
委員 奥山 謙三